

もったいないの認識の違い

英語 B 班

金紗愛 田中菜月 森島奈実

1. はじめに

今日の外国語の辞書に mottainai という語が加わっている。本当に外国人は日本人が使うように mottainai という言葉を使うのかに興味を持ったので、この研究を始めた。

2. 研究の過程

【実験 1】何かもったいないと思うのかについてアンケートをとる。

調査対象：高津高校 1、2 年 教職員 合計 644 人

メリック日本語学校、京都駅にいた人、大阪大学の留学生 合計

(韓国・中国・ベトナム・インドネシア・フィリピン・タイ・ロシア

・モンゴル・アメリカ・トルコ・オランダ・オーストラリア・カナダ出身)

調査内容：食べ物を残した時、電車を見逃した時、水道の水が出しっ放しなのを見た時にもったいないと思う、もしくはもったいないと思わないの 4 つの中から当てはまるものを複数選んでもらいました。

<仮説>外国人よりも日本人の方が、もったいないと思う人の割合が多い。

実験 1 では、何に対してもったいないと思ったのかが明確ではなかったため、それを改善するためにもう一つアンケートを行いました。

【実験 2】何に対してもったいないと思うのかについてと、外国人はもったいないという言葉を知っているのかについてアンケートをとる。

調査対象：高津高校 2 年 合計 39 人

メリック日本学校 合計 39 人

(韓国・中国・ベトナム・台湾・ノルウェー・アメリカ出身)

調査内容：(1)もったいないを知っているか。

(2)食べ物を残した時 ①作ってくれた人に申し訳ないと思うから。

②資源を無駄にしたと感じるから。

③その他

④なんとも思わない

(3)水道の水が出しっ放しなのを見た時 ①水道代がかかるから。

②資源を無駄にしたと感じるから。

③その他

④なんとも思わない

〈仮説〉外国人はもったいないという言葉を知っている。

日本人はばらつきがある、外国人は資源を選ぶ人が多い。

3. 結果・考察

〈結果〉

[実験①]

日本人と外国人では、食べ物を残したときと水道の水をだしっぱなしにしたときにもったいないと答えた人の割合はどちらも日本人のほうがかなり高く、違いが見られた。

しかし、電車を見逃したときにもったいない、そもそももったいないと思わないと答えた日本人と外国人の割合は同じぐらいで違いはあまり見られなかった。

[実験②]

食べ物を残したとき、日本人は作ってくれた人のことを、外国人は資源のことを思ってもったいないと思うと答えた人が多く、違いが見られた。

水道の水を出しっぱなしにしたとき、日本人は水道代のことを、外国人は資源のことを思ってもったいないと答えた人が多く、違いが見られた。

〈考察〉

実験①で食べ物を残したときに外国人が日本人よりもったいないと思うと答えた割合が低かった理由は外国では食べ残したほうがいいという文化もあるからだと考えられる。

水道の水をだしっぱなしにしたときに外国人が日本人よりもったいないと思うと答えた割合が低かった理由は外国ではアパートやマンションの場合、家賃に水道代が含まれている場合が多いためそもそも水道代を気にしないからだと考えられる。

実験②で日本人と外国人とでもったいないと思う対象が異なることから考えられることは、外国人はもったいないという言葉は資源に対してだけ使うと認識しているからだと考えられる。